

基本理念 2

“幸せ” あふれる

まちの魅力・誇りづくり

	基本施策
<p>【基本方針⑤】 まちの誇りを育む教育・学習の充実と歴史・文化を継承していく</p>	<p>(1) 学校教育の充実 (2) 生涯学習の推進 (3) 歴史・文化の継承</p>
<p>【基本方針⑥】 豊かな自然を保護、活用する</p>	<p>(1) 環境共生・資源循環の推進 (2) まちなみ・クリーク・公園・自然環境の保全・活用</p>
<p>【基本方針⑦】 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める</p>	<p>(1) 観光拠点の機能強化、充実 (2) 観光振興策の充実 (3) まちの情報発信・シティセールスの強化 (4) 地域交流・イベントの強化 (5) 国際化の推進</p>

基本方針⑤ まちの誇りを育む教育・学習の充実と歴史・文化を継承していく

ICT等の社会の変化に対応した教育環境の充実とともに、幼児、児童及び生徒の健全な育成を図ります。また、歴史・文化を知り、学び、伝える機会を年齢に関係なく設けることで、市民一人ひとりが誇りを持って本市の魅力を語り継ぐことができるまちを目指します。

■主な数値目標

指標名	現状		目標
○神崎市に「愛着を感じている」と感じる方の割合	77.1% ※2017(平成29)年度 第2次神崎市総合計画 市民アンケート調査	⇒	85%以上 ※後期基本計画 市民アンケート調査
○神崎市の歴史・文化資源などを活かしたふるさとづくりによる交流人口(観光客数)	11.5万人/年 ※2016(平成28)年度	⇒	20万人/年 ※2022年度
○神崎塾講座など講座・研修受講者	644人/年 ※2016(平成28)年度	⇒	1,000人/年 ※2022年度



放課後児童クラブ



高志狂言

市民の声

(総合計画策定に係る市民ワークショップ・市民まちづくりアンケート・地域懇談会・市長と語る会における主な市民の意見)

市民から見た神崎市

- ◆ 長い歴史と文化がある。
- ◆ 旧町村ごとの特性ある伝統行事がある。
- ◆ 電子黒板やタブレットなど、学習用情報機器の導入、整備が早い。
- ◆ エアコン導入や耐震工事を実施しており、学校施設がしっかりしている。
- ◆ 西九州大学が市内にある。
- ◆ 市が実施している歴史のまちあるきは非常に良いと思う。
- ◆ 神埼、千代田、脊振それぞれに誇るべき偉人がいるので教育の場で活かせたら良い。
- ◆ 伝統行事等の後継者が不足している。
- ◆ 若い世代の地域文化への関心が薄い。
- ◆ 不登校児童対策への意識向上が必要である。
- ◆ 脊振地区の小中学校児童が減少しており今後が不安である。

神崎市がよりよいまちになるために 市民が期待すること

- ❖ 地域の情報の収集、発信拠点、歴史や文化の学びの場として図書館を充実させてほしい。
- ❖ 観光、歴史、自然ボランティアを育成してはどうか。
- ❖ 今できることは、子ども達に自分のふるさとの良さ、家族の大切さを教育することだと思う。
- ❖ 市の予算はこれからの子ども達に使ってほしい。
- ❖ 子ども達に我慢する気持ちを教えることも必要だと思う。

【基本方針⑤ まちの誇りを育む教育・学習の充実と歴史・文化を継承していく】

基本施策（１） 学校教育の充実

① 現状・課題

学校教育環境については、老朽化に伴う施設の改修や ICT 教育環境の整備を行っており、今後も計画的に実施していくことが必要です。

学校給食については、共同調理場での集中調理を行っており、郷土料理の提供や地場産食材の積極的な活用などを今後も継続していくことが必要です。

脊振地域で運行している通学バスについては、児童・生徒等の登下校時における安全確保を図るため、今後も継続的な運行が必要です。

また、市内の教職員の資質向上や本市についての学びのため、教師塾を行っており、今後もこの取組みを維持、強化する必要があります。

② 取組み方針

- ✧ 2020 年度からの新学習指導要領への対応とその実施に向けた学校教育の充実への取組みを行います。
- ✧ いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努め、不登校や問題行動を減らすため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、学校適応指導教室の充実を図ります。
- ✧ 学校施設の長寿命化に向けた整備計画の継続及びさらなる ICT 教育環境等の充実を図ります。
- ✧ 地域との連携のもと、郷土教育（文化、伝統行事等）の充実を図り、神崎市を愛し、誇りに思う人材の育成を行います。
- ✧ グローバル社会に対応する人材育成に向けた異文化交流を継続するとともに、外国語教育に力を入れ、児童・生徒の学力向上に取り組めます。
- ✧ 安全・安心な学校給食の提供を通じて、地産地消、食育の推進を図り、地域への愛着、食の大切さ、感謝の心を育み、子ども達の健やかな成長に寄与します。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○「子どもマイスター」「優秀子ども学芸員」の認定等、神埼・ふるさと学習の充実	教育指導係
○学校教員を対象とした教師塾の継続開催	
○学校適応指導教室の拡充	
○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用による児童・生徒の支援	
○学力向上、生徒指導に対する学校支援の推進	教育指導係 教育総務係
○学校施設の必要な修繕、改修及び備品整備の実施	教育総務係
○脊振地域から通学する高校生、高等専門学校生の通学費助成の継続	
○小・中学校の ICT 教育環境の整備及び推進	
○小・中学校の英語教育の推進	
○脊振地域における通学・コミュニティバス運行の継続【再掲】	学校給食係
○地場産食材の積極的活用等による学校給食の充実	
○学校給食の供給体制、調理機器等の充実	

【基本方針⑤ まちへの誇りを育む教育・学習の充実と歴史・文化を継承していく】

基本施策（２） 生涯学習の推進

① 現状・課題

少子高齢化の進行や高度情報化への急速な発展など、社会環境の変化が著しい中、生涯学習に対するニーズは多様化・高度化しています。

このため、本市における生涯学習拠点の中央公民館を中心とした各種教室・講座の実施、文化・サークル等各種団体の育成、活動支援など、ソフト面の継続強化や市内3箇所に設けられた図書館の相互連携及び社会体育施設の老朽化対策等の取組みが必要です。

② 取組み方針

- ◇ 多様化・高度化する生涯学習のニーズに対し、学校、家庭及び地域が相互に理解し合い、綿密な連携を図ることを推進します。
- ◇ 生涯学習に関する環境整備、特色・魅力ある各種教室や講座の充実に努め、自主的・自発的な生涯学習に向けた社会教育の総合的推進を図ります。
- ◇ 新図書館（旧 JA 会館 1 階）及び脊振町複合施設建設に伴う図書館機能の拡充を図ります。
- ◇ 他市町図書館との交流提携を行い、図書館機能の充実及び利便性向上を図ります。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○公民館等での各種教室・講座の充実	社会教育係
○文化・サークル等各種団体の育成、活動支援	中央公民館係
○自治公民館の新築及び全面改築への助成の実施	中央公民館係
○図書館蔵書の充実	図書館係
○市民の読書意欲の高揚と読書活動（家読モデル事業）の推進	
○他市町図書館との交流提携	
○神埼塾講座、神埼まちあるき、古文書講座などの各種講座の継続開催	歴史文化振興係



学校給食共同調理場



はんぎーホール

【基本方針⑤ まちの誇りを育む教育・学習の充実と歴史・文化を継承していく】

基本施策（3） 歴史・文化の継承

① 現状・課題

本市で暮らすことの価値やその良さを実感するうえで、市の歴史や文化を知ることが重要です。

本市では、2016（平成28）年度から市史の編さんをスタートしており、これまで合併前の旧3町村ごとに分かれていた町村史の総合的な編さんを進めています。

同時に、市内の歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを進めるため、各種地域資源のデータベース化や歴史まちづくり遺産への登録制度を実施することにより、市民の地域への愛着を醸成するとともに、「神崎市」を深く知り、市内外に語り伝える人材を育てることで、市民が主体となって取組むまちづくりを推進していくことが必要です。

また、本市の大切な歴史・文化資源である姉川城跡や旧古賀銀行神埼支店をはじめとした文化財の保存・活用や、伊東玄朴、吉田絃二郎、下村湖人、徳川権七などの郷土の偉人の情報を市内外へ発信することで、本市の魅力を確認するとともに、観光振興、交流のまちづくりにつなげることが必要です。

② 取組み方針

- ✧ 神崎市歴史文化遺産を活かしたまちづくり基本計画との整合を図り、各種取組みを行います。
- ✧ 郷土の歴史・文化の継承に向けて、歴史的建造物の保存、各地域の祭り・伝統行事・芸能等の保存・継承、郷土の偉人の顕彰、各種団体の取組みへの支援や小中学校と連携した啓発活動に取組みます。
- ✧ 神埼の歴史文化資料の適正な収集・保管・公開・活用を図る歴史資料館や収蔵保管施設の整備を計画的に進めます。
- ✧ 本市の誇りと魅力である歴史・文化・自然遺産等をまちづくりの重要な資源と捉え、本市の魅力として市内外に発信します。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○各地区や保存団体による市内指定文化財の維持管理の促進	文化財係
○市全体及び指定文化財個別の保存活用計画の策定	
○県指定史跡「伊東玄朴旧宅」の老朽化対策	
○国史跡姉川城跡の保存・活用	
○国登録有形文化財「旧古賀銀行神埼支店」の便益施設の整備	
○文化財サインの新規整備及び既存サインの修理	
○文化財収蔵庫の整備及び適切な保管・管理・活用	
○伊東玄朴をはじめとした郷土の先覚者の顕彰	社会教育係
○神崎市史の編さん、刊行	市史編纂係
○神崎市歴史まちづくり遺産登録制度の推進	歴史文化振興係
○地域伝統文化の伝承と後継者育成	



基本方針⑥ 豊かな自然を保護、活用する

脊振山から筑後川までの多様な自然環境を引き続き地域とともに守り、その豊かな環境資源を再生可能エネルギー等として活用を図り、自然環境の保護と活用のバランスが取れたまちを目指します。

■主な数値目標

指標名	現状		目標
○温室効果ガスの削減目標	—	⇒	40%削減 ※2030年度までの国の目標値により設定
○ごみ総排出量	8,305t/年 ※2016(平成28)年度	⇒	8,133t/年 ※2025年度



吉野ヶ里メガソーラー



高取山公園

市民の声

(総合計画策定に係る市民ワークショップ・市民まちづくりアンケート・地域懇談会・市長と語る会における主な市民の意見)

市民から見た神崎市

- ◆ 山や川、田園やクリークの景観が美しい。
- ◆ 四季の景観は自慢。
- ◆ 城原川は蛍の名所。
- ◆ 静かで住みやすい。
- ◆ 家庭での野焼き禁止など環境マナーの周知が必要。
- ◆ 異常気象による大雨、干ばつ等水資源というものを考えていかなければと思う。

神崎市がよりよいまちになるために 市民が期待すること

- ❖ 自然景観が良いところも多いのでなるべく自然を壊さないようにお願いしたい。
- ❖ 神崎市は河川の多さが魅力であるが、洪水災害に備え河川の整備が重要である。雑草、ゴミなどを定期的に除去して魚のすめるきれいな河川を維持しなければならない。
- ❖ 市の中央を貫流する城原川の河川整備は早く進めるべきだ。
- ❖ クリークの環境改善をお願いしたい。



【基本方針⑥ 豊かな自然を保護、活用する】

基本施策（１） 環境共生・資源循環の推進

① 現状・課題

環境共生・資源循環については、本市だけの問題でなく、地球温暖化の進行やエネルギー資源・水資源・天然資源の枯渇など、国際的に課題が山積しています。

本市では、神崎市地球温暖化対策実行計画に沿って、温室効果ガス排出量の削減に努めています。また、公用車のクリーンエネルギー自動車化、公共施設への太陽光発電装置の設置を進めるとともに、ゴミのリサイクルに取り組んでおり、地域における資源やエネルギーの循環を今後も推進していくことが必要です。

さらに、環境の美化活動の一環として環境研修会やクリーン作戦を実施しており、今後も継続していくことが必要です。

② 取組み方針

- ◇ 地球温暖化対策実行計画や災害廃棄物処理計画、一般廃棄物基本計画の策定を行い、これらの計画に基づき取組みを進めます。
- ◇ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動に取り組む、ごみ減量化、再資源化を推進します。
- ◇ 地球温暖化対策及びエネルギー問題への対応のため、本市の資源を活かした再生可能エネルギーの導入や間伐材等を利用したバイオマス[※]の事業展開を図るとともに、公共施設における使用エネルギーの抑制やグリーン購入[※]を推進します。
- ◇ クリーン作戦をはじめとする環境美化活動の推進に加え、市民意識の向上を図るため、環境教育、啓発活動、市民や事業所の環境配慮活動への支援等を行います。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○地球温暖化対策実行計画の策定及び実行	生活環境係
○環境美化活動の推進	
○災害廃棄物処理計画の策定	

※バイオマス：木質、食品残さ、家畜排泄物など、生物を由来とする再生可能資源。

※グリーン購入：製品やサービスを購入する際に、環境及び必要性を考慮して、環境への負担ができるだけ少ないものを選んで購入すること。

【基本方針⑥ 豊かな自然を保護、活用する】

基本施策（２） まちなみ・クリーク・公園・自然環境の保全・活用

① 現状・課題

本市は、脊振山系の山並みや城原川等の河川、クリークが特徴的な田園景観など、変化に富んだ自然環境を有しています。これらを良好な形で次世代に残すため、今後も地域と連携してその保全、活用を進める必要があります。

日の隈公園、直鳥クリーク公園、高取山公園など、本市の特色を活かした個性ある公園があり、市民に親しまれていますが、安全な利用を確保するために、老朽化等への対応を計画的に行う必要があります。

また、本市には、旧長崎街道神埼宿をはじめ、歴史的な建造物やまちなみが現存しており、景観や環境に配慮した計画的なまちづくりを進めていく必要があります。

② 取組み方針

- ◇ 自然環境を守りながら暮らすことができるまちづくりを行うとともに、都市計画マスタープランに基づき、市民が快適に住み続けることができる環境づくりを目指します。
- ◇ 地域との協働によるクリークの維持管理を行い、田園景観を守り続けるとともに、防災等の観点からクリーク機能の保全を図ります。
- ◇ 市の特産品である菱の実などをクリークや河川、水田で栽培し、保全と併せて活用を図ります。
- ◇ 集落内水路の水草上げに対して補助金を交付し、集落内水路の環境保全を図ります。
- ◇ 公園施設の適切な維持管理を行うことで、来園者の増加を図り、市民への憩いの場の提供及び本市の観光振興につなげます。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○都市計画マスタープランに基づく無秩序な開発行為の防止及び良好な都市的土地利用の推進	都市計画係
○子どもから高齢者まで利用できる広場の整備	
○国土利用計画の推進と第２次国土利用計画の策定	企画係
○集落内水路の保全への助成	建設管理係
○重要遺産・景観の保存整備と活用	歴史文化振興係
○準用河川及び普通河川における環境に配慮した整備の実施【再掲】	建設２係
○クリークの防災機能保全対策の推進【再掲】	農村整備係
○適正な森林整備による流域の水源かん養機能や山地災害防止機能の維持増進【再掲】	林業振興係

基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める

本市の自然と歴史の中で創り上げられた地域資源を磨き、特色ある観光資源として活用することで人の流れ（周遊）や交流を創出するとともに、それらの資源を神埼市の魅力として全国に情報発信し、「行きたくなる、また来たくなるまち」を目指します。

■主な数値目標

指標名	現状		目標
○観光案内の充実、国内外へのプロモーションによる神埼市の認知度率 (市ホームページアクセス数)	156,271 件 ※2016(平成 28)年度	⇒	10%UP ※2022 年度
○観光案内の充実、国内外へのプロモーション等、観光資産の情報発信による観光客数	103 万人/年 ※2016(平成 28)年度	⇒	120 万人/年 ※2022 年度
○ふるさと納税の件数	731 件/年 ※2016(平成 28)年度	⇒	9,300 件/年 ※2022 年度



吉野ヶ里歴史公園



城原川ハンギーまつり

市民の声

(総合計画策定に係る市民ワークショップ・市民まちづくりアンケート・地域懇談会・市長と語る会における主な市民の意見)

市民から見た神崎市

- ◆ 宿場まつりや櫛田の市など各地でイベントが開催されている。
- ◆ フランスとの姉妹都市交流や中国、韓国との学校交流などの国際交流が豊富である。
- ◆ はんぎーホールは設備が整っており、もっと色々なことに活用できると思う。
- ◆ ハンドボールチームの「レッドトルネード」がある。
- ◆ 魅力はたくさんあるのに、市民が気づいていない。
- ◆ 観光地はあるが、どれも通過型でルート整備がされていない。
- ◆ 宿泊施設がない。
- ◆ 公園や観光施設の整備は長期間にわたって利用者、来館者が望めるようなものが必要。
- ◆ 国際交流に関しては地域ごとに認識の度合いや取組みに対する温度差がある。

神崎市がよりよいまちになるために 市民が期待すること

- ❖ SNS を活用して情報発信したほうが良い。
- ❖ 神崎、千代田、脊振それぞれの特徴を活かし地域でできることから取組んでいったらと思う。
- ❖ 神崎市に住んでいる人が神崎市で楽しみ、消費をすることで地域も活性化するし、一日食事をして遊んでゆっくりできる場所があれば、自然と人が集まり交流も生まれると思う。
- ❖ 観光案内板等をもっと整備してほしい。
- ❖ グリーンツーリズムで都市部の人を呼び込んでほしい。
- ❖ レッドトルネードをもっと市をあげて応援して盛り上げていく。
- ❖ 吉野ヶ里歴史公園などの利用料を市民だけの特別価格にするなど、移住してプラスになることがあれば人口も増えるのではないかと思う。
- ❖ 西九州大学の学生や留学生との交流をもっと行ってはどうか。

【基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める】

基本施策（１） 観光拠点の機能強化、充実

① 現状・課題

本市には、旧長崎街道神埼宿のまちなみや九年庵、吉野ヶ里遺跡などの歴史、文化遺産や郷土の偉人、脊振山系をはじめとする豊かな自然に加え、神埼そうめんや菱の実といった特産品など、観光拠点となる資源が数多くあります。

さらに、新しい観光拠点として、王仁博士を顕彰する公園を整備するなど、地域の振興に取り組んでいますが、これらの資源を効果的につなぐ観光ルートや拠点間のネットワーク化が行われていない状況にあります。

このため、各観光拠点の機能強化に加え、統一された案内サインの設置や適切なパンフレットの作成などにより、観光客の受け入れ体制を整備することが必要です。

② 取組み方針

- ✧ 旧古賀銀行神埼支店、神崎市長崎街道門前広場を中心とした、旧長崎街道神埼宿のまちなか観光の拠点づくりを推進します。
- ✧ 市内全体の文化財の整備と利活用を推進します。
- ✧ 王仁博士顕彰公園の利活用を図り、王仁博士でつながる人・モノの交流を促進します。
- ✧ 郷土の偉人である伊東玄朴の記念館整備を行い、市内外に向けた顕彰活動を展開します。
- ✧ 神埼市の秋の風物詩である菱の実採りの体験会などを開催し、他の観光資源と合わせて魅力の向上を図ります。
- ✧ 神埼市の魅力を伝え、市内外の人の動きを活発にする情報発信の拠点として、神埼情報館の整備を推進します。
- ✧ インバウンド*を意識し、多言語の案内標識や表示、パンフレット等を作成し、訪日外国人の受け入れ環境の整備を図ります。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○市内観光施設のネットワーク化による観光ルートの整備	商工観光係
○公共施設での観光情報の発信及び観光サインの充実	
○訪日外国人旅行者の誘客促進及び受け入れ環境の整備	

*インバウンド：元々は「外から中に入り込む」という意味だが、一般的に外国人の訪日旅行の意味で使われる。

【基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める】

基本施策（２） 観光振興策の充実

① 現状・課題

本市の観光地である吉野ヶ里歴史公園や九年庵、脊振山頂などを訪れる観光客は、県外からの来訪者も多くみられます。しかし、市内には多数の観光客に対応できる宿泊施設がないことなどからほとんどが日帰り（通過）客であり、観光に係る一人あたりの消費額が低迷していることから、産業として十分に育っていない状況にあります。

本市の観光に関する取組みは、神崎市観光協会と連携し、観光情報の発信や観光案内、イベントの開催等を進めていますが、今後は、新たな観光資源の掘り起こしを行うとともに、観光事業者を含め様々な主体と連携し、ターゲットに応じた体験プログラムを開発、提供するなど、観光客の市内滞在時間を延ばすための戦略的なしなかけが必要です。

また、市内だけでなく、広域的な観光連携も視野に入れ、佐賀県が一体となった観光振興、観光客の誘客に取り組むことも必要です。

② 取組み方針

- ◇ 吉野ヶ里歴史公園を核とした市内の観光ルートの形成や、地域資源を活かした滞在型観光メニューの構築に取り組めます。
- ◇ おもてなし観光の気運を高めるため、市民向けのツアー開催をはじめ、観光ガイドの育成を図ります。
- ◇ 今後も県事業と連携し、観光資源の磨き上げ等を進めます。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○滞在型、通年型観光への展開に向けた学習プラン、体験プログラムの構築	商工観光係 歴史文化振興係
○観光ガイド等の人材育成の実施	商工観光係



直島城跡



下村湖人生家

【基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める】

基本施策（3） まちの情報発信・シティセールスの強化

① 現状・課題

本市では、誘客や移住等を促進するため、テレビ・ラジオ・インターネット・新聞・雑誌など様々な情報媒体を活用したプロモーション活動を行っています。

具体的には、神埼市の偉人、イベント、名所、名産品等を紹介するプロモーションムービーの制作、民放テレビ局の番組内で「今 DOKI 神埼市」と題した CM 放送及び FM ラジオ等による情報発信を行っています。

今後も、神埼市が有する豊富な魅力を効果的に伝えるためのコンテンツ制作に取り組むとともに、市のイメージアップを図る必要があります。

② 取組み方針

- ◇ 歴史・自然・観光・特産物などを本市の魅力として市内外へ情報発信し、誘客や移住等につなげます。
- ◇ プレスリリース等による情報提供に加え、TV 等マスメディアの積極的な活用により、市の話題等を全国に発信します。
- ◇ 国内の都市圏はもとより、アジア圏からの観光客を見据えた市の PR（吉野ヶ里歴史公園、九年庵、王仁博士顕彰公園等）を展開します。
- ◇ ふるさと納税の趣旨を大切にし、寄附者の想いを行政施策に適切に反映させるとともに、返礼品として全国に向けた市の特産品等の PR を行います。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○神埼市地域資源データベースの充実とデジタルミュージアム「かんざき@NAVI」等による情報発信	歴史文化振興係
○市政、暮らし、イベント、観光、特産品等の情報発信による誘客や移住等の促進	企画係 商工観光係
○ふるさと納税の推進及び PR 強化	政策推進係
○情報化社会に対応するための研修等の提供	秘書広報係



高取山農産物直売所



神埼駅北側のコスモス畑

【基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める】

基本施策（４） 地域交流・イベントの強化

① 現状・課題

本市の地域に伝わるまつりや伝統行事に加え、神埼町の「長崎街道かんざき宿場まつり」、千代田町の「城原川ハンギーまつり」、脊振町の「わんぱくまつり」の「ふるさと夏まつり」は、地域の特性を活かした恒例の一大イベントとなっています。神埼町においては、まちなかの賑わいの創出と地域の活性化に寄与しています。千代田町においては、学校でハンギーの乗り方を練習するなど、伝統的な生活文化の継承として意義あるものとなっています。また、脊振町においても、中学校を主体とした食品の製造・販売を行うなど、地域と関係団体との交流が生まれる機会となっています。

今後も、さまざまなイベントを通して、市内外や地域間の交流を促し、一体感ある取組みを継続していくことが必要です。

② 取組み方針

- ◇ 地域の伝統文化を再認識し、交流による地域活性化を図ります。
- ◇ 本市が誇る歴史遺産、自然、観光、特産物、農産物などを活用したイベントを展開することにより、市内外の交流を深め、人の流れをつくります。
- ◇ JR ウォーキングや櫛田の市など民間イベントとの連携により交流人口の増加を図ります。
- ◇ 幅広い世代が一堂に会し、親睦と融和を深めるイベント開催を計画します。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○地域の夏まつりへの実施支援	商工観光係
○地域や年代を超えて交流できるイベントの開催	政策推進係



長崎街道かんざき宿場まつり



脊振町わんぱくまつり

【基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める】

基本施策（5） 国際化の推進

① 現状・課題

本市では、フランスをはじめ、韓国、中国等と幅広く国際交流を展開しています。

フランスとの交流は、ポークール市と友好姉妹都市提携により、両国の文化・経済等の交流を通じた、相互理解を目的に友好を深めています。現在は学校間の情報交換を主体とした教育交流であり、友好姉妹都市交流の導入期、定着期を経て、さらに次の段階に進めるための様々な課題を整理して交流を発展させていくことが必要です。

中国との交流は、1989（平成元）年から山西省の中学生と学校間での交流が始まり、近年はお互いにホームビジットを行うなど、着実に交流が深まっています。

韓国との交流は、王仁博士生誕の地である霊岩郡の中学生と学校間での交流を行っており、異なる文化への理解を深めています。

今後も、国際交流の各事業を継続し、子ども達の視野を広げ、国際感覚を養う人材の育成を行うとともに、多文化共生の地域づくりやインバウンドを意識した観光への展開を見据え、市全体の国際化を進めていくことが必要です。

② 取組み方針

- ✧ フランスや中国、韓国との国際交流を継続、強化するとともに、国際交流に係る民間団体の育成等により、多方面にわたる取組みを行います。
- ✧ 国際感覚が豊かな人材が育つ教育プログラムを推進します。
- ✧ 多文化共生やインバウンドの環境づくり等を通じて、市全体の国際化を推進します。

■主な取組み・事業等

主な取組み・事業等	担当部署
○友好姉妹都市提携を行っているフランスポークール市との文化・経済交流等の推進	企画係
○脊振中学校と姉妹校締結をしている中国山西省山西（サンセイ）大学附属中学校との学校間交流	教育指導係 教育総務係
○神崎中学校と姉妹校締結をしている韓国霊岩郡朗州（ナンジュ）中学校との学校間交流	
○千代田中学校と姉妹校締結をしている韓国霊岩郡三湖西（サムホソ）中学校との学校間交流	
○小・中学校の英語教育の推進【再掲】	商工観光係
○王仁博士の生誕地である韓国霊岩郡との交流事業の実施	
○訪日外国人旅行客の誘客促進及び受け入れ環境の整備【再掲】	